地域の基幹病院として患者様の健康に役立つ情報を！

東京警察病院オリジナル広報誌

T.M.P.H.ニュース

2018 Summer Vol. 23

Tokyo Metropolitan Police Hospital News

CONTENTS

- 副院長紹介／産婦人科の紹介
- 総合診療内科部長着任のご挨拶
- 医師コラム「頭痛持ちの頭痛」
- 8階東病棟の紹介
- 早期離床・リハビリテーションチームの紹介
- 区民健康講座のご案内
- 予防医学センターの紹介

副院長紹介

佐藤 博明

プロフィール
1988年筑波大学医学部卒業。筑波大学脳神経外科、筑波メディカルセンター、筑波記念病院脳神経血管内外科科長を経て2003年東京警察病院脳神経外科医長、脳血管内治療部部長。2013年脳卒中センター長に就任。2014年東京医科歯科大学臨床教授。2017年東京警察病院脳血管内治療科部長兼任。
日本脳神経外科学会専門認定医・評議員。日本脳神経血管内治療学会認定医・指導医。日本脊髄外科学会認定医。日本脳神経血管内治療学会関東地方会・2017年度会長。WFITN国際脳神経血管内治療学会査読委員。ESNR 欧州脳血管内治療学会。
専門領域：脳卒中治療、急性期脳血管障害に対する血行再建術、頸動脈ステント術、脳動脈瘤塞栓術。脳血管内治療。脊髄脊椎疾患の治療

副院長を拝命し、主に、安全で確実な医療の提供と、病床の運用管理に関する分野を担当させて頂くことになりました。私は元来、脳卒中診療を担当してまいりました。脳卒中の診療にはできるだけ早期に診断と治療を行う必要があり昨年、脳卒中専門病棟であるSCU(Stroke Care Unit)を城西地区に始めて開設させて頂きました。今後も多くの方々の意見を拝聴しながら、皆様に信頼される病院の運営に全力を尽くして行きたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

高澤 和永

プロフィール
1981年信州大学医学部卒業
聖路加国際病院で内科研修後
1983年山梨大学医学部第三内科入局
1987年から1991年ブラッセル自由大学に留学
1997年より東京警察病院内科
2005年より東京警察病院内科部長

医学博士
日本内分泌学会代議員
日本内分泌学会指導医
日本内分泌学会専門医
日本甲状腺学会評議員
日本甲状腺学会専門医
専門領域：内分泌・代謝・甲状腺

副院長として、主に広報を担当します高澤です。日本の医療・福祉の直近の課題として、医療と介護を何とか効率的に運用しようという、地域包括ケアシステムの構築があげられます。その中で当院が救急病院としてどのような役割を担えるのか、解決すべき課題は山積です。当院単独で解決できる課題ではありませんので、地元開業医の先生方のみならず、自治体、住民の皆様とも密に情報を共有し、地域に根ざした病院として発展すべく努力しようと考えております。さらなるご協力お願いいたします。

産婦人科の紹介

産婦人科部長　中澤 直子

今年度からフレッシュな医師チームで再出発した私たち産婦人科を、少し紹介させて頂きます。中野の地に移転して10年余り、当科は、地域と職域の出産を担うことを一つの使命と考え、優しく意欲ある助産師達と共に毎年400件以上の分娩に携わってきました。昨年度で前部長等が退職され、私が後を継がせて頂きましたが、東大産婦人科の連携病院として佐藤医長（悪性腫瘍専門）、荻島医員、中林医員、吉新医員が加わり、大変仲良く和やかに日々奮闘しています。今までの伝統も守りつつ、婦人科腫瘍の治療や低侵襲の内視鏡下手術にも積極的に取り組み、かつ心身両面からの全人的医療を心掛け、一人でも多くの患者様のお役に立ちたいと願っています。

当院助産師は、母乳育児に非常に積極的に取り組んでおり、母親学級のほか、アロマ外来やすくすく外来（授乳指導）、ひよこクラス（ベビーマッサージ）など、産前～産後まで、継続的できめ細やかなケアを心掛けています。緊急事態も多い診療科のため、来院時にお待たせすることもあり、ご不便をお掛けする事があるかと思いますが、女性の皆様は年齢を問わず、どうかお気軽に私達のチームにご相談下さい。

産婦人科スタッフ

東京警察病院
Tokyo Metropolitan Police Hospital

東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。
Thoughtful（ソートフル）……患者様の立場に立った医療を目指していきます
Technical（テクニカル）……医療レベルの向上に努めていきます
Trustworthy（トラストウォージー）……皆様の信頼に応えていきます

総合診療内科部長着任のご挨拶

2018年4月に総合診療内科部長として着任しました菊池です。専門は脳神経内科で、脳・脊髄から末梢神経、神経筋接合部、筋肉、自律神経系にわたる広汎な領域を診る科です。自ずと関連する疾患は多彩です。例えば、脳神経内科外来で多い主訴の御三家は「頭痛・めまい・しびれ」ですが、頭痛一つとってもその原因は200種類近くあります。一方で、とにかくわけのわからない病気をみたら神経内科へという暗黙の了解も“かつて”ありました。良くも悪しくも神経学的診察を中心に常に全身を診る必要性に迫られるわけですが、思うにこのことは総合診療内科のスタンスに相通じる面があると認識しています。要するに、単一臓器、単一疾患にとらわれず、広い視野で全身を診るということです。

実際の診療では、初期段階で迅速かつ適切に診断をつけ、高度かつ専門的な医療が必要であれば速やかに当該専門科にご紹介します。また、診断がつかない場合でも全身状態が不良であれば当科で担当させて頂きます。

総合診療内科 部長
菊池　猛

1991年佐賀大学医学部卒業

[専門領域]
内科全般
脳神経内科疾患

[主な資格]
日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本神経学会　認定神経内科専門医・指導医
日本医師会　認定産業医

日本のような高齢化社会にあっては、多臓器に疾患を抱えて悩んでいる患者様はたくさんいます。そのような患者様を中心に、地域の基幹病院として開業医の先生や医療連携に携わる多くのスタッフと一層緊密な関係を構築していきたいと考えています。

至らぬところはその都度ご指導いただき、地域医療のために最善を尽くして参りたいと存じます。

医師コラム

頭痛持ちの頭痛

頭痛の原因はおよそ200種類あると考えられますが、その大半が“良性”で、日常生活に支障を来すことがあっても生命に危険を及ぼすことはありません。私たちの日常診療でも頭痛を主訴に受診する患者様のほとんどは頭痛持ちの頭痛、すなわち慢性頭痛です。一方、見逃してはならない頭痛は髄膜炎、くも膜下出血、脳内出血、脳腫瘍など緊急性を有する頭痛ですが、このコラムでは慢性頭痛にしぼって取り上げたいと思います。

一般的に、慢性頭痛は市販薬でなんとか凌いでいるのが現状で、頭痛を主訴に医療機関を受診する人は10%前後と言われます。また、一般医が頭痛を正しく診断できるのは約半数で、受診しても軽快しないために途中で通院をやめてしまうケースも多いようです。

以下に代表的な慢性頭痛である緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛の特徴をまとめました。

頭痛の誘発因子には社会的ストレス、姿勢、無理なダイエット、貧血、飲酒、薬物乱用、月経周期、天候の変化などのほか、近年、パソコンやスマートフォンなどが発するブルーライト、エンジン音などの低周波音が問題となっています。

まずは日常生活環境の改善と休養が大切でしょう。単に頭痛と言ってもその原因に応じて治療法も異なりますので、早めの医療機関受診をお勧めします。

	緊張型頭痛	片頭痛	群発頭痛
症　状	頭全体的で両側性 締め付けられるような痛み	必ずしも頭の片側とは限らない ズキンズキンと拍動性	一側の眼の奥 えぐられるような激痛
随伴症状	肩こり めまい	ときに前兆(視界が狭まる、 ギザギザした光)	眼の充血、涙、鼻づまり
発作時間	30分から7日間	4〜72時間	15分〜3時間
頻　度	反復タイプ(月15日未満)と 慢性タイプ(毎日)女性に多い	週2回〜月1回 30歳代の女性に 多い、加齢に伴い軽快	1〜2ヶ月間、ほぼ毎日深夜睡眠中 20〜40歳代の男性に多い
背　景	過労、ストレス、 *VDT作業、更年期	過労、ストレス、 家族性、鎮痛剤乱用	飲酒 脳の視床下部に発生源

*VDT；visual display terminal（視覚表示装置）

8階東病棟の紹介

8階東病棟のスタッフ

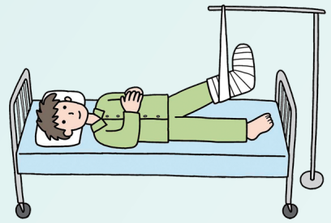
8階東病棟は、動くために必要な骨・軟骨・筋・靱帯・神経などの疾患や転倒転落、交通事故、スポーツなどで怪我を負った患者様が主に入院をする整形外科の病棟です。

突然の受傷から先天性の疾患、長い年月をかけて変形してしまった疾患など、幅広い年齢の方が入院されています。
また、特別室も完備されており病院的空間から離れた環境での治療を受けることもできます。この特別室は整形外科だけでなく、様々な疾患の患者様が利用されるため、病棟スタッフは常にどのような疾患にも対応できるようにしています。

入院された患者様には安心して手術を受けていただき、いち早くもとの生活に戻れるように手術室や集中治療病棟とも連携して対応しています。

術後の機能回復にも力を入れており、術後早期からリハビリテーションに取り組むとともに、早期退院ができるように医師・看護師・理学療法士・医療ソーシャルワーカーと緊密な連携を取りあい、状態に応じて当院の回復期リハビリテーション病棟や近隣のリハビリテーション病院とも連携し、患者様一人一人の生活環境にあった看護を提供しています。

最新の手術等の技術や知識習得に努めるとともに、突然の受傷により緊急入院をされた患者様の精神面にも常に寄り添い、笑顔で退院していただけるようスタッフ一丸となり取り組んでいます。



早期離床・リハビリテーションチームの紹介

近年、集中治療領域におけるリハビリテーションの重要性が認識されるようになり、平成30年度診療報酬改訂で多職種による早期離床・リハビリの取り組みに関わる評価が新設されました。集中治療センター入室48時間以内にチームでカンファレンスを行い、早期離床・リハビリ介入を行うことで、急性期患者のADL(日常生活動作)低下の予防や呼吸状態の改善などが期待されます。

当センターでは5月から集中ケア認定看護師2名、集中治療経験5年以上の救急科医師4名、理学療法士4名でチームを組んで、毎朝カンファレンスを行っています。重症例には早期のリハビリ介入が必要であり、人工呼吸器などの生命維持装置がついた患者様にも安全に対応できるように臨床工学技士や、リハビリに適した麻酔を調節するために薬剤師も加わっています。

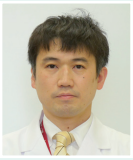
区民健康講座のご案内

地域の皆様を対象に医療の様々な分野と知識について当院の医師がわかりやすく解説する健康講座を開催しています。

第98回 8月18日(土)

午後14:00～15:00
(開場13:30)

テーマ その薬 大丈夫？
～不眠と睡眠薬について～

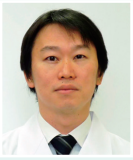


神経科部長
古川　俊一

第99回 9月8日(土)

午後14:00～15:00
(開場13:30)

テーマ 頭痛外来へようこそ
～頭の痛い話～



総合診療内科医長
関根　世師

講演後は、皆様からのご質問も承ります。
たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

受講料 無料

◆場　　所：東京警察病院　9階　大会議室
◆申　　込：経営企画課へお申し込み下さい。
①電話：TEL 03-5343-5611(内線14552)
受付時間:8:30～17:00 (日曜日・祝日・年末年始を除く)
②FAX：ホームページよりFAX用紙を印刷して頂き送信して下さい。
FAX 03-5343-5612

※電話・FAX番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします
＊各回とも定員(60名)になり次第、締め切りとさせて頂きます
＊当日、お車の方は病院の駐車場をご利用下さい(30分/100円)

参加者の声

●毎回丁寧でわかりやすく実用的で為になります。
●大変勉強になりました。

過去に開催されたテーマ

●「脳卒中のすべて-初期症状から最新治療法、そして予防法まで-」
●慢性腎臓病と言われたら　●こわい不整脈から身を守る！

予防医学センターの紹介

病気の早期発見と予防のため、充実した医療機器と経験豊富なスタッフによる高度な検査を提供いたします。また、病院併設型ドック機能によるフォローアップ体制が充実しています。

基本コースの流れ（所要時間約4時間30分）

受付(8:00) → 身体測定 → 血液・尿検査 → 血圧・脈拍測定 → 眼科検査 → 聴力検査 → 呼吸機能検査 → 心電図検査 → 腹部超音波検査 → 診察 → 胸部X線検査 → 上部消化管検査 → 結果説明 → 終了(およそ12:30)

オプション検査(30項目)
(基本コースを受診し、事前にご希望された方)

※検査の順序は、状況により前後します。

コース料金

基本コース　54,000円(税込み)

＊その他、PET-CT検査等のオプションを多数ご用意しております。
詳細は予防医学センターまでお問い合わせください。

ご予約・お問合せ先
予防医学センター(9階)
受付時間／月曜日～土曜日　10:00～16:30
電話番号／03-5343-5750(直通)

診療のご案内

受付時間

月曜日～土曜日
午前　8:00～11:30
午後12:30～16:00

■ 自動再診受付機 稼働時間……7:30～16:00
■ 自動精算機 稼働時間……8:30～17:00
※防災センター自動精算機：24時間稼働
■ 休診日：日曜日・祝日・年末年始(12/29～/1/3)

レストラン「憩」

9F
営業時間：7:30～18:00

ナチュラル・ローソン

1F　ATMあり
営業時間：6:00～21:00

案内地図

P 屋外駐車場 78台 一般料金:200円/30分 受診者料金:100円/30分
病院敷地内は全面禁煙です。ご協力をお願い致します。

理念

私たちは、医療の質の向上と患者さまの満足を目指し、日夜努力いたします

基本方針

●私たちは、患者さまの権利と意志を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します
●私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します
●私たちは、地域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します
●私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します
●私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します

患者さまの権利と責務

●**基本的権利**
良質で安全な医療を、等しく受けることができます

●**情報を得る権利**
十分な説明と情報提供を受けることができます

●**自己決定と選択自由の権利**
自己の意志に基づき、治療を選択すること、あるいは拒むことができます

●**情報保護の権利**
個人の医療情報ならびにプライバシーは、保護されます

●**責任と義務**
他の患者さまの診療、ならびに医療従事者の業務を妨げるような行為は、慎んでいただきます

〒164-8541 東京都中野区中野4丁目22番1号　電話番号:03-5343-5611(代表)
発　　行:東京警察病院 経営企画課
編集制作:有限会社タイム商品研究所